

## ニホンアナグマ *Meles anakuma* Temminck

### 【選定理由】

県内のアナグマについては断片的な情報しか得られていないが、分布域は不連続的で狩猟圧もあるため今後個体数を減少させる可能性がある。個体数のモニタリングのための早急な基礎調査・研究が必要とされている。

### 【形態】

頭骨長 440~680mm、尾長 116~180mm、後足長 57~91mm、耳介長 38~47mm、頭骨最大長 109.3~113.0mm。頑丈な体に太く短い四肢を持ち、手の爪は特に強大。耳介は小さく円盤状の鼻鏡をもつ。尾は短い。頭蓋では吻が比較的短く、鼓室胞が小さい。上顎の第4小臼歯は発達が悪く、他のイタチ科のように「裂肉歯」としての機能を果たしていない。上顎第1大臼歯は四角形をしている。日本産のアナグマの歯式は I3/3, C1/1, P3/3, M1/2=34 (子安・織田, 2009 など)。

### 【分布の概要】

#### 【県内の分布】

犬山市、小牧市 (東部の山地)、春日井市、名古屋市 (緑区鳴海町：野呂, 2015)、知多市 (北浜町)、豊田市、岡崎市、設楽町、豊根村、東栄町、新城市、豊川市、豊橋市、田原市 (宮尾ほか, 1984；子安・織田, 2009；子安ほか, 2016；藤井ほか, 2016；子安, 2018)。

#### 【国内の分布】

本州、四国、九州、小豆島 (子安・織田, 2009)。

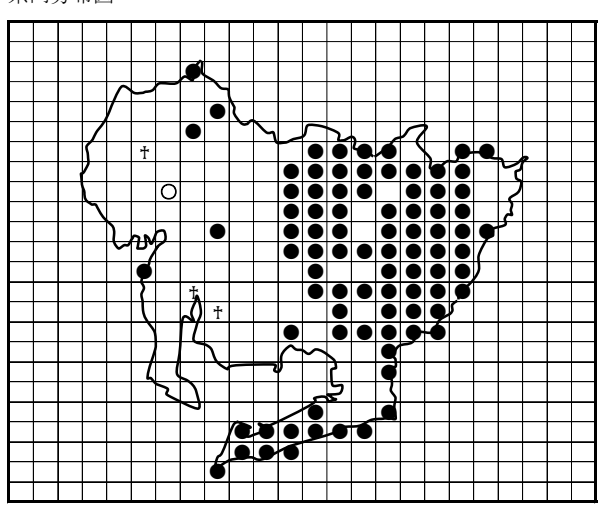
#### 【世界の分布】

日本固有種 (Kaneko, 2015)。

### 【生息地の環境／生態的特性】

低山帯の森林や低木林に巣穴のトンネルを掘って生活している。巣穴には血縁の家族群ですみ、ミミズ類、昆虫類、両生類、果実類などを食べる。繁殖期は春で、1回に1~4仔を産む。完全な「冬眠」はしないが、厳冬期には穴の中にももってなかなか外にでないことがある。秋には越冬にそなえて採餌活動の量が増える。完全な夜行性なので、アナグマの巣穴の使用状態を知るには、巣穴の入り口に立てかけた木の枝が翌朝動いているか見ればよい。

県内分布図



### 【現在の生息状況／減少の要因】

現在のところ、尾張丘陵部と知多半島を除いた県内に広く分布が見られるが、分布域はパッチ状である (宮尾ほか, 1984)。尾張丘陵部と知多半島での絶滅はかなり以前であると考えられている (宮尾ほか, 1984)、近年知多半島で確認されるようになった (野呂, 2015；藤井ほか, 2016)。個体数が比較的多いと考えられる三河山間部では、農産物に被害をもたらすことを理由に捕獲されることもあり、市街化による環境悪化とあいまって個体数を減少させる可能性があるが、現状ではあまりにも情報が不足していて正確な評価を下すのが困難である。

### 【保全上の留意点】

2013年に名古屋市緑区のブドウ畑で捕獲された個体の生息地は市街化によって孤立化しており、地域的な絶滅に注意が必要である (野呂, 2015 参照)。都市近郊のニホンアナグマ生息地における早急な生態調査・研究が必要とされている。

### 【特記事項】

県内の先史遺跡でアナグマの遺存骨の出土が見られたのは、亀山遺跡 (渥美郡福江町)、保美貝塚・伊川津貝塚 (田原市渥美地域)、大蚊里貝塚 (豊橋市大村町)、八王子貝塚・枯木宮貝塚 (西尾市)、朝日遺跡 (清須市)、大曲輪貝塚・下内田遺跡 (名古屋市)、宮西貝塚 (知多郡東浦町) である (子安・織田, 2009 など)。日本哺乳類学会では普通種とされている (佐々木, 1997)。

### 【引用文献】

- Kaneko, Y. 2015. *Meles anakuma* Temminck, 1842. The Wild Mammals of Japan, 2nd ed., pp.266-268. Shoukadoh Book Sellers, Kyoto.  
藤井太一・川本宏和・白子智康・上野 薫・南 基泰, 2016. 愛知県知多市臨海工業地帯企業緑地におけるカメラトラップ法による哺乳類調査. 日本緑化工学会誌, 42: 320-329.  
子安和弘, 2018. 人家から奥山まで生息する哺乳類. 新修豊田市史 別編自然, pp.586-603. 豊田市, 豊田.  
子安和弘・織田統一, 2009. アナグマ. レッドデータブックあいち 2009 動物編, p.89. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.  
子安和弘・岡田慶範・小鹿登美・吉村文孝, 2016. 哺乳類. 豊田市生物調査報告書<分冊その3>, pp.337-367. 豊田市, 豊田.  
宮尾嶺雄・花村 肇・高田靖司・酒井英一, 1984. 哺乳類. 愛知の動物, pp.286-235. 愛知県郷土資料刊行会, 名古屋.  
野呂達哉, 2015. ニホンアナグマ. レッドデータブックなごや 2015 動物編, p.43. 名古屋市環境局環境企画部, 名古屋.  
佐々木 浩, 1997. イタチ科 Mustelidae. レッドデータ日本の哺乳類, pp.100-107. 文一総合出版, 東京.

(子安和弘・織田統一)